

日本共産党3議席獲得、引き続き議案提案権確保

上越市議会議員選挙は22日に執行され、32人の新議員が確定しました。

今回の選挙は2005年1月の合併後、初の全市一区選挙となりました。しかも議員定数はこれまでの48から32に減ったこともあり、大激戦になりました。

こうしたなか日本共産党は上野公悦、平良木哲也、橋爪法一の現職3人を擁立し、全国3番目の高い介護保険料の引き下げ、原発ゼロなどを訴え、議案提案権の確保を目指しましたが、

全員当選により実現しました。選挙結果を見ると、当初から予想されていた通り、旧上越市に編入された合併地域在住の候補者が健闘し、全議席に占める割合はこれまでの37%から44%へと上昇しました。この結果、今後の市政運営は全市域のバランスを考慮して行うことが今まで以上に求められることになるでしょう。

私は今回の選挙では、「合併地域の繁栄なくして市の発展はない」と強調、地域事業費制度の見直しなどでみ

られた13区軽視の動きをけん制するとともに、介護保険料の引き下げ、柏崎刈羽原発の再稼働反対、TPP参加反対など市民のいのちと暮らしを守る公約を掲げたたたかいました。その結果、大きな支持をいただきました。公約実現目指し頑張ります。

橋爪選対事務局の杉本敏宏元市議は、「支持を寄せてくださった方々に心から感謝します。橋爪議員は、市政レポートを発行し頑張ってくれると確信している」と談話を発表しました。

各候補の得票状況

当落	候補者名	年齢	区別	今回得票	前回得票	備考
当	中川 幹太	36	無・現	4526	4372	
当	柳沢 周治	63	無・現	3385		2197
当	小林 和孝	54	無・新	3302		
当	武藤 正信	57	無・現	3269		1809
当	滝沢 逸男	62	無・現	3233	2856	
当	橋爪 法一	62	共・現	3216	1898	1783
当	大島 洋一	64	無・現	2988	1905	
当	宮崎 政国	69	無・現	2922		1954
当	上松 和子	56	公・現	2898	2199	
当	笹川 栄一	63	無・現	2836		1310
当	石平 春彦	58	無・現	2831	2070	
当	山崎 一勇	64	無・現	2761		1963
当	内山 米六	67	無・現	2751		2165
当	桜庭 節子	54	無・新	2720		
当	石田 裕一	49	無・新	2706		
当	杉田 勝典	61	公・現	2677	1957	
当	上野 公悦	62	共・現	2676	1931	1173
当	鴨井 光夫	62	無・現	2617		913
当	平良木 哲也	54	共・現	2603	2518	
当	飯塚 義隆	61	無・現	2558	2415	
当	永島 義雄	72	無・現	2509	2549	
当	渡辺 隆	45	無・現	2428	2072	
当	田中 聡	34	無・新	2343		
当	草間 敏幸	61	無・現	2313		
当	本城 文夫	71	無・現	2295	2072	
当	近藤 彰治	61	無・元	2284	2213	
当	佐藤 敏	67	無・現	2280	1815	
当	滝沢 一成	55	無・元	2269	1900	
当	江口 修一	64	無・現	2224	1422	
当	瀬下 半治	62	無・現	2198	2102	
当	塚田 隆敏	68	無・現	2186	1092	1507
当	波多野一夫	52	無・現	2174	2127	
次	岩崎 哲夫	59	無・現	1896	1735	
落	田村 武男	69	無・現	1879	1675	
落	栗田 英明	57	無・現	1776	1631	
落	細谷 好文	60	無・新	1561		
落	古澤 弘	71	無・現	1531	1889	
落	吉野 誠一	63	無・新	1513		614
落	小竹 俊之	34	無・新	864		
落	太田 史俊	29	無・新	598		
落	宮沢 一也	69	無・新	406		655

※備考の数字は2005年2月執行の市議増員選挙結果です。



橋爪のりおの
市政レポート

NO 1550
2012.4.29

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 025-548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

大島区板山の伯母が入院している県立松代病院へ行ったのは市議選告示のちよつと前でした。正直言って、見舞いというよりも伯母に会っておかないと何となく落ち着かなかったのです。

伯母に関しては、入院したという記憶はありませんので、おそらく今回が初めての入院でしょう。看護師さんから病室番号を教えていただいて病室に入ったとき、伯母は目を閉じていました。「ばちや、来たよ。なじよだね」静かに声をかけると、伯母はゆっくりと目を開き、「まあ、忙しいのに……」と言った喜んでくれました。

どうやら伯母は軽く眠っていたようです。眠っていた時間はかなり長かったのかも知れません。私に「お昼を食べたか」と訊いたくらいですから……。びっくりした私は、「もう夕方の五時一五分前だよ」と伯母に教えました。

入院前に板山で会ったとき、伯母の顔はかなりむくんでいました。そのむくみはとれ、ほぼ元の顔に戻っていました。「顔、いくなつたねか」と言ったら、伯母もその点は自覚しているようで、「もう少しだ。がんばれ、がんばれ」と先生に言われている」とうれしそうに言いました。ただ、手がやせ細っているのが気になりました。

伯母のベッド脇にある棚には額入りの一枚の写真がありました。埼玉県は川口市に住む孫夫婦とその子どもの写真です。写真の日付は四月七日。入園式の際に撮った記念写真でした。「いい写真だねか」と伯母に言うと、伯母は、「はい、そうなんです。昨日、来て行ったがです」と急に他人行儀な言い方をしました。でも、うれしかったからこそ、そういう言い方になったのかも知れません。

この日、私は伯母に会ったら、やってやりたいと思うことが一つありました。背中かきです。伯母が入院して間もなくの頃、母が従姉たちと一緒に見舞ったとき、「一番喜んでくれたのは背中をかいやった時だった」そう母が言っていたからです。

私は伯母と話をしながら、「背中かき」のタイミングをずっと考えていました。そして、体をゆするようになった時です、すかさず訊きました、「ばちや、かゆいがか。背中かいてやろかね」。伯母は遠慮がちに体を横にしました。「どら、どら、かいてやるよ」そう言いながら、伯母の背中に手を入れました。

伯母の背中には思いのほか、やわらかく、あたたかでした。右手の五本の指の、先端部分でゆっくりと、やさしくかきました。「まあ、気持ちいい。やっぱし手だね」伯母は何度もこの言葉を繰り返しました。顔の表情もほんとうにうれしそうです。その様子を見て、今度は体を反対向きにしてみたい、再び背中かきをしました。伯母は「思いつけもね、ありがとうございました」と言いました。

伯母に会ったとき、いつも感心するのは、妹である母のことを気にかけていてくれることです。この日も、母のことを心配していました。季節はもう春です。「ばちや、ふきん採りして川の中に落ちなきやいいが。その連絡もしねうちこつちに来ちゃった……」母がすでにフキノトウやコゴミを採るために近くの川のそばに出かけていることをよく知っているのです。これには驚きました。

今冬は大雪でした。山間部はまだかなり雪が残っています。一五分くらい経った頃、伯母が突然、私に訊きました。「おまさんの方は雪、消えたかえ？」伯母は頭の中で自分でやりたい春仕事のことを考えていたのです。これならもう大丈夫です。私は帰る時、伯母に言いました。「雪が消えたら、やわやわと畑仕事でもしんがさ」

市民のいのちと暮らしを守るため、議案提案権を積極的に活用

日本共産党議員団（橋爪法一団長）は23日午後、今回の選挙結果についての団長談話を発表しました。その概要は以下の通りです。

今回の選挙で日本共産党は現職3人を擁立して闘った。全員当選しホッとしている。選挙戦でご協力、ご支持をしてくださった皆さんに心から感謝申し上げます。介護保険料引き下げなどの訴えは市民から歓迎され、選挙での全員当選につながったと思っている。樋口議員の引退で少しさみしくなった気もするが、議席占有率は8.3%から9.4%へと上昇した。今



ムシカリの花。吉川区小苗代

後は議案提案権を積極的に活用し、市民のいのちと暮らしを守ってがんばっていききたい。

初議会は来月20日ごろの見込み

議会事務局によると、初の各派代表者会議が8日、初議会は来月20日頃の予定です。議会はこれだと長い空白ができます。代表者会議で訴えたいと思います。

「橋爪法一を囲んで山菜料理を楽しむ会」のご案内

恒例となっている「橋爪法一を囲んで山菜料理を楽しむ会」を今年も開催します。

今年は雪消えが遅いものの、すでにコシアブラ、タラの芽、コゴミは食べ頃になっています。ウドも当日までには確保できるでしょう。

会では、私の報告の他、本の朗読やオカリナ演奏も予定されています。農繁期ではありますが、ぜひお出かけください。お酒を飲まれる方は車では来られないようお願いいたします。

日時：5月5日午後3時から
会場：橋爪牛舎脇広場（吉川区）
会費：1000円。お酒・山菜料理持ち込み大歓迎。持ち込み者は無料
※事前の申し込みは不要です



昨年の会